

平成 28 年度播磨圏域の主な事業内容について

播磨圏域連携ビジョンに掲げる 53 事業中、連携した取り組みが求められる「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」及び「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」について平成 28 年度に特に連携が加速した事業について報告するもの。

I 圏域全体の経済成長のけん引

1 「播磨地域ブランドの確立」

(1) 東京インターナショナル・ギフト・ショー

① 概要

播磨圏域連携中枢都市圏を形成する 7 商工会議所と姫路市が共同で贈答品や高級雑貨などを扱う国内最大級の見本市「東京インターナショナル・ギフト・ショー」に出展し、播磨地域の個性豊かな商品を百貨店担当者や卸売業者などに PR

② 期間

平成 28 年 9 月 7 日（水）～ 9 日（金）

③ 場所

東京国際展示場（ビッグサイト）

④ 出店者数

51 事業者 75 商品

内訳：地酒 13 事業者 13 商品、菓子 11 事業者 13 商品、食品 12 事業者 18 商品、工芸品ほか 15 事業者 31 商品

⑤ 商談状況

3 日間で計 102 件の商談

⑥ 主な来場者

阪神百貨店、東急ハンズ、マルイ、(株)ヤマトヤシキ、Amazon、(株)ヒメプラ、なんばパークス、日本百貨店（秋葉原高架下）、エディオン、テレビ東京、楽天クーポン、イオンリテール、ブリヂストン



図 1：東京インターナショナル・ギフト・ショー

(2) 「豊穡の国・はりま」大物産展

① 概要

播磨圏域連携中枢都市圏の地域ブランドである「豊穡の国・はりま」を広く PR するために、姫路城前の大手前公園で開催

② 期間

平成 28 年 10 月 1 日（土）～ 2 日（日）

③ 場所

大手前公園（姫路市本町）

④ 来場者数

5 万人（10 月 1 日（土）：2 万人、10 月 2 日（日）：3 万人）

⑤ 出店者数

全 57 ブース

内訳：豊穡の国・はりま事業者ブース 38 ブース



図 2：豊穡の国・はりま大物産展

市町 PR ブース
大学研究 PR ブース

17 ブース
2 ブース

(3) Food Japan2016

- ① 期間
平成 28 年 10 月 27 日 (木) ~29 日 (土)
- ② 場所
Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre (シンガポール共和国)
- ③ 内容
ASEAN 最大級の日本食総合見本市で「豊穰の国はりま」ブランドの PR 及び姫路・播磨圏域観光コンベンションの PR
- ④ 実績 (来場者数)
304 社・団体が出展し、11,525 名の来場

(4) 関西産業観光博覧会

- ① 期間
平成 28 年 10 月 23 日 (日) (オープニング)
平成 28 年 11 月 15 日 (火) ~同月 21 日 (月) (常設展示)
- ② 場所
関西国際空港駅ターミナル コンコース (オープニング)
関西国際空港 第 1 ターミナル 1 階・2 階 イベントスペース (常設展示)
- ③ 内容
近畿経済産業局主催で初開催された関西産業観光博覧会に出展し、訪日客に対して地場製品の PR 並びに観光コンベンションを PR(日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、タイ語対応)
- ④ 実績 (来場者数)
約 3,400 人 (オープニング)
合計約 2,500 人 (常設展示)

(5) 日本酒条例サミット 2016 in 京都

- ① 期間
平成 28 年 11 月 19 日 (土)
- ② 場所
京都市役所前広場 (京都市中京区)
- ③ 内容
播磨の統一ブランド庭酒、「豊穰の国はりま」ブランド PR 並びに観光コンベンションを PR(日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、タイ語対応)
- ④ 実績 (来場者数)
約 10,000 人

(6) フェニックス市姉妹都市提携 40 周年記念事業

- ① 期間
平成 28 年 11 月 10 日（木）
- ② 場所
日本庭園「鷺鳳（ろほう）園」（アメリカ合衆国アリゾナ州フェニックス市）
- ③ 内容
姉妹都市提携 40 周年を迎えた姫路市とフェニックス市との記念事業の中で播磨圏域の地域ブランド「豊穡の国・はりま」及び日本酒を PR
- ④ 実績（参加者数）
約 200 人

(7) 宮城県石巻市との連携事業（平成 28 年度事業内容）

- ① 概要
東日本大震災復興を契機に交流が深まっている宮城県石巻市と、播磨圏域・石巻市
の名産品（地酒・海産物・菓子等）競演イベントの参加・共同 PR を行い、圏域の名
産品の販路拡大・魅力発信
- ② フェアの実施
播磨圏域と石巻市の物産品を販売するフェアの実施
ア 実施場所（計 3 か所）
イオンモール福岡（福岡県糟屋郡）イオンモール津田沼（千葉県習志野市）、
まるごとにつぼん（東京都台東区）
イ 実施日
・平成 29 年 3 月 11 日（土）～12 日（日）（イオンモール福岡）
・平成 29 年 3 月 18 日（金）～20 日（月・祝）（イオンモール津田沼、まるごと
につぼん）
- ③ 両地域の名産品を活かした、メニュー開発
宮城県水産高校（石巻市）が播磨圏域の農業系高校で栽培された農産物と石巻市の
水産物などの名産品を使用したメニューの開発を行い、開発したメニューを飲食店な
どで提供し販路拡大につなげていく。

2 「はりまグランドツーリズムの展開」

(1) 広域観光パンフレット（日本語版、外国語版）の設置

- ① 日本語版
・ 8 市 8 町に 6 月、2 月に総計 20,000 部配布
・ 高速道路 SA などに配布 50,000 部
・ 姫路駅観光案内所、姫路市東京事務所
- ② 外国語版
・ KTIC（関西ツーリストインフォメーションセンター）
英語版（A 4 両面）チラシを作成し、関西空港内 KTIC にてプロモーション
・ JTB 在外支店
4ヶ国語（英語・マレー語・タイ語・インドネシア語）の A 4 判 16 ページのパン

フレットを作成し、JTB 在外支店（シンガポール支店、バンコク支店、ジャカルタ支店）にてプロモーションを展開

(2) フェアへの参加

◎ 国内向けフェア

① 東京スカイツリー（東京都墨田区）

ア 期間

平成 28 年 7 月 2 日（土）～3 日（日）

イ 場所

東京スカイツリー内 5 階出口フロア 全国観光 PR コーナー「Beautiful Nippon」

② 姫路食博（姫路市）

ア 期間

平成 28 年 11 月 11 日（金）～13 日（日）

イ 場所

大手前公園（姫路市）

③ 国立劇場

ア 期間

平成 28 年 12 月 2 日（金）～26 日（月）

イ 場所

国立劇場（東京都千代田区）

ウ 内容

国立劇場開場 50 周年記念公演「仮名手本忠臣蔵」において広域観光 PR アナウンスを実施

◎ 海外向けフェア

外国人観光客を誘致（インバウンド観光の推進）するため、日本政府観光局（JNTO）が主宰する各種フェア他に参加

① ツーリズム EXPO2016

ア 期間

平成 28 年 9 月 22 日（木・祝）～25 日（日）

イ 場所

東京ビッグサイト（東京都江東区）

ウ 内容

世界最大級の旅行博覧会。約 20 万人の来場者に対し神戸、明石とともに出展し姫路・はりまを PR

② Food Japan2016（再掲）

ア 期間

平成 28 年 10 月 27 日（木）～29 日（土）

イ 場所

Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre（シンガポール共和国）

ウ 内容

ASEAN 最大級の日本食総合見本市で姫路・播磨圏域観光コンベンションの PR
及び「豊穰の国はりま」ブランドの PR

エ 実績（来場者数）

304 社・団体が出展し、11,525 名の来場

③ 関西産業観光博覧会（再掲）

ア 期間

平成 28 年 10 月 23 日（日）（オープニング）

平成 28 年 11 月 15 日（火）～同月 21 日（月）（常設展示）

イ 場所

関西国際空港駅ターミナル コンコース（オープニング）

関西国際空港 第 1 ターミナル 1 階・2 階 イベントスペース（常設展示）

ウ 内容

近畿経済産業局主催で初開催された関西産業観光博覧会に出展し、訪日客に対して観光コンベンション PR(日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、タイ語対応)並びに地場産品を PR

エ 実績（来場者数）

約 3,400 人（オープニング）

合計約 2,500 人（常設展示）

④ 日本酒条例サミット 2016 in 京都（再掲）

ア 期間

平成 28 年 11 月 19 日（土）

イ 場所

京都市役所前広場（京都市中京区）

ウ 内容

観光コンベンション PR(日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、タイ語対応)
並びに播磨の統一ブランド庭酒、「豊穰の国はりま」ブランドの PR

エ 実績（来場者数）

約 10,000 人

⑤ JNTO（日本政府観光局）を通じた旅行見本市でのパンフレットの配布

ア インドネシア Garuda Travel Fair2016（平成 28 年 10 月 7 日（金）～9 日（日））

イ タイ第 10 回 FIT フェア（平成 28 年 11 月 4 日（金）～6 日（月））

ウ ロンドン WTM2016（平成 28 年 11 月 7 日（月）～9 日（水））

エ マレーシア Japan Travel Fair2016（平成 28 年 11 月 9 日（水）～13 日（日））

(3) 新事業展開

◎ はりまクラスター型サイクルスタイル構築事業

① 概要

平成 28 年度に地域再生計画「はりまクラスター型サイクルスタイル構築」を策定し、3 年間で播磨圏域連携中枢都市圏域各市町の公共交通機関から自転車で観光地までをつなぎ、自転車を使った二次交通の利用を促進し、広域観光を推進

② 平成 28 年度事業内容

ア 姫路駅前サイクルステーションの開設

神姫バス姫路駅旧待合所に広域観光ルートの紹介や更衣室、ロッカー、サイクル用品（簡単なメンテナンス用品の使用は無料。手袋やパンク修理用リペアチューブなどの小物は有料）を配置した「姫路駅前サイクルステーション」を開設

イ レンタルクロスバイクの設置

中距離圏内を走行可能な「クロスバイク」を姫路市内及び宍粟市内計 4 か所合計 10 台を無料で設置

設置場所；神姫バス旧姫路駅前バスターミナル内、神姫バス山崎待合案内所
農家レストラン「且緩々」、書写山ロープウェイ山麓駅

ウ サイクルエイドステーションの設置

自転車のメンテナンス（空気入れ、パンク修理）が無料で出来る「サイクルエイドステーション」を姫路市、宍粟市、神河町内 10 か所に設置

③ 今後の展開

ア サイクリングコースの検証

今後モデルとなるサイクリングコースの実走検証

イ 勉強会の開催

地域住民やモデルコースの試走参加者等とともに、播磨地域でのサイクルロードのあり方を検討するための勉強会の開催

ウ WEB 上での情報発信

サイクリングコースや圏域の観光地などの紹介

II 高次の都市機能の集積・強化

◎ 姫路駅周辺整備事業の推進

(1) コアゾーン各ブロックの整備状況

① Aブロック

ア 計画内容

(仮称) ホテルモントレ姫路

イ 概要

都市型ホテル、商業施設及び駐車場で構成される。ホテルの施設・機能としては、全てツインルーム以上の客室を 282 室、宴会場、レストランのほか、当初提案していたスパ、チャペルの導入も再検討

ウ 進捗状況

平成 28 年 8 月 16 日 (火) 工事着手



図 3 : A ブロック整備イメージ

② Cブロック

ア 計画内容

健康・生きがい・キャリア開発プロジェクト

イ 概要

医療系専門学校、高齢者向け住宅、保育所、クリニック、フィットネスジムを計画

ウ 進捗状況

平成 28 年 12 月上旬 工事着工



図 4 : C ブロック整備イメージ

(2) コアゾーン内の歩行者デッキの整備

① 概要

J R 姫路駅からイベントゾーンをはじめとする駅東地区への歩行者動線として、車道と交差することなく、安全で快適に移動できる 2 階レベルの歩行者空間を確保するもの

② 進捗状況

A-B ブロック間の歩行者デッキは 6 月末で工事完了 (7 月 9 日 (土) から供用開始)、その他区間は、実施設計済み

Ⅲ 生活関連機能サービスの向上

1 図書館施設相互利用促進事業

◎ 図書館相互利用の拡充

① 概要

平成 27 年度より、播磨圏域 8 市 8 町の 37 館・約 407 万冊の図書の貸し借りが可能となる相互利用制度を導入した。

今年度は全館共通の検索システムが稼働し、更に、11 月からは利便性向上のためマイナンバーカードに標準搭載されている公的個人認証（JPKI）の利用者証明用電子証明書を活用し、姫路市内の図書館において同カードによる利用（本の貸出）を開始。（全国初）

また、今年度中に連携中枢都市圏を形成する福崎町、神河町も同様にマイナンバーカードによる貸し出しサービスを行うこととしている。（複数自治体によるマイナンバーカード（JPKI）の利活用も全国で初の取組）

② 参考

平成 27 年度末 利用登録者数 8,626 人（うち姫路市 2,237 人）

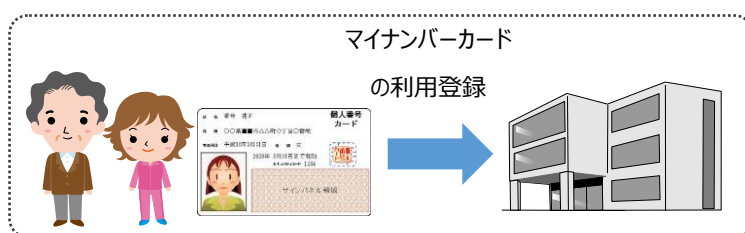


図 5 姫路市におけるマイナンバーカードの図書館利用イメージ



図 6 今後の播磨圏域でのマイナンバーカードの図書館利用展開イメージ

2 関係市町との人材育成・交流事業

◎ 連携中枢都市圏・政策創造プロジェクトについて

① 概要

連携中枢都市圏全体の活性化につなげ、各市町間の絆を深めるため、連携中枢都市圏が抱える政策課題等について、職員の能力や自由な発想を最大限に活用し、積極的に施策に反映させることを目的に、連携市町の職員で構成する政策創造プロジェクトチームを設置した。(28年度は、地方創生のキーパーソンであり、活躍が期待される女性メンバーで構成)

② 平成28年度中間報告

3つのプロジェクトチームに分かれて、行政課題への解決策を企画立案中。

・ Aチーム

女性職員オススの圏域内のお店や子育てに優しい公園などの情報をまとめて発信する、冊子やWEBサイトの構築

・ Bチーム

圏域内の公共・商業施設や公共サービス等、出産・子育て等に関する情報の提供・収集、共有ツールであるアプリケーションの開発

・ Cチーム

播磨圏域での特産物の販路拡大や新商品開発(株式会社フェリシモ(神戸市中央区)との連携)

③ 今後の展開

ア 平成28年度

Cチームが主体となって選定した播磨圏域の産品(地酒・乾麺)のセットを通信販売会社(株)フェリシモと共同開発し、地域イメージの向上と販路拡大のために「はりま女子セレクトパック(仮)」として販売する。

イ 次年度以降

各市町担当部局と事業内容を擦り合わせ、可能であれば、実施の検討を行う。

④ 報告

平成29年2月21日(火)に、本プロジェクトのアドバイザーである清水播磨町長とプロジェクトチームで、本圏域のアドバイザーである増田寛也元総務大臣及び連携中枢都市圏制度を所管する総務省市町村課に対して取り組みの報告を実施